

# にしき丘

編集・発行 苫小牧高専 新聞局  
発行責任者 宮崎 洋輔



## 新任の先生へ

### インタビュー

#### 加藤晃先生

##### ・苫小牧高専の第一印象

今までは一人一人の距離が遠く感じていたので苫小牧高専は分野に関係なく距離が近いのでいい職場だと思います。雰囲気はゆとりのあるのんびりしたイメージで野生のリスに毎朝癒されています。

##### ・専門・研究

土木分野の地盤、土に変わる材料の再生利用の研究です。

##### ・趣味・休日の過ごし方

スノボなどのウィンタースポーツや温泉です。

## 目次

一・二面 新任の先生へインタビュー

二・三面 一年間、各系で過ごしてみ

四面 高専祭を終えて

##### ・学生に向けて一言

五年間は長いようで短く、高専の先生は分野関係なく距離が近いための事(専門外の教科)も幅広く学んでみてください。

#### 柏瀬陽彦先生

##### ・苫小牧高専の第一印象

高専出身者が大学の後輩にいたので学生に対して漠然と親しみのようなものを感じていました。一方で高専の独特なルールみたいなのはあるだろうなとも思っていました。

##### ・専門・研究

教科は数学ですが、研究者としての専門は地球物理です。具体的には両極の氷の減少が本場に起こっているのかを人工衛星のデータを使って調べています。

##### ・学生に向けて一言

系の枠組みで物事を考える学生が多いですが自分の場合だと研究対象は環境系寄りだが、手法は情報系寄りです。せっかく近くに違う分野の人があるのでいろんなことに挑戦してもらいたいと思います。

#### 山本椋太先生

##### ・苫小牧高専の第一印象

一年生の系分けが無くなったことで他クラスとのかかわりがあるので昔と雰囲気違って面白かったです。

##### ・専門・研究

組込みシステム、ソフトウェア工学が専門です。

・趣味・休日の過ごし方

研究をしたり将棋を指しています。昔は料理やお菓子作りをしています。お菓子作りは学生時代にバレンタインチョコをもらえなかった人達で食べようと思ったのがきっかけです。

・学生に向けて一言

人に言われて動くのではなく自分から率先していろいろなことを吸収しようという気持ちをもって生活してほしいです。

### 長尾昌紀先生

・苦小牧高専の第一印象

自分自身も本科・専攻科と七年間通った学校なので非常に懐かしい感じがします。

・専門・研究

専門は無機化学・触媒化学です。研究は個体触媒材料に関する研究で現在は石炭灰などの廃材料を用いたバオマス変換プロセスの構築を目指しています。

・趣味・休日の過ごし方

ほとんどサッカーをして過ごしています。(部活動、社会人サッカー、審判)

・学生に向けて一言

部活動、遊び、アルバイト、もちろん勉強もですが学生時代でなければできないことがたくさんあると思います。様々なことに積極的に挑戦し、学生生活を全力で楽しんでください！

### 時田紗緒里先生

・苦小牧高専の第一印象

「男の子たくさん！」でした。ほかには系ごとに色が違って面白いなと思いました。高専ならではのですね。

・専門・研究

近世(江戸時代)の文学で女性文学を専門に研究しています。特に荒木田麗女という人の人物像、作品が中心です。最近では漢文素養を持った女性文学者という視点から研究をしています。

・趣味・休日の過ごし方

最近は動画をずっと見ています。あと夢のネズミの国が大好きで夢のネズミの国関連の音楽を聴きながら読書をしたりします。

疲れて何もしたくないときは某宇宙人狼の実教動画をずっと流しています。

・学生に向けて一言

私の座右の銘は「人事尽くして天命を待つ」そして「塞翁が馬」です。できることをやり、あとはあまり悩まず楽しく暮らしましょう。自分のご機嫌を自分でとれる人になると人生楽になりますよ。

インタビューに協力していただいた新任の先生方、ありがとうございます。

一年間、各系で

過ごしてみて

二年生は系配属されてから一年がたった。自身が考えていたその系の印象は実際に過ごしてみてどのように変わったのだろうか。

そこで新聞局は各系で実際に過ごしてみた感想を取材した。例年通りとはいかないがこの記事を通じてほかの系がどのような雰囲気なのかを感じてみてほしい。

### ・機械系

機械系に入ってから不安よりも専門科目に対する興味がだんだんとわいてきた。実習は一つ間違えれば怪我につながる危険があるなどの、難しい点や大変な点もあるが実際に手を動かすのでとても楽しい。

印象の変化は機械系の先生は怖いイメージがあったが実際実習などで話してみるととても優しい。

一年といってもコロナ禍で例年通りに行えていないのでコロナによって見えていない部分もあるのかもしれない。

## ・都市・環境系

都市・環境系は多くの人が第一印象として難しい実習、専門科目が多いと考えているようだ。しかし実際は測量実習など、実際に手を動かして学ぶことが多く、とても楽しく、印象に残る人が多いようだ。ほかの専門科目に関しても思っていたよりも簡単に実習同様楽しいと感じている人が大半だった。先輩方は明るい人が多く、縦のつながりを持つる点は強みになると思う。学んだことを卒業後に発展させることもできる。

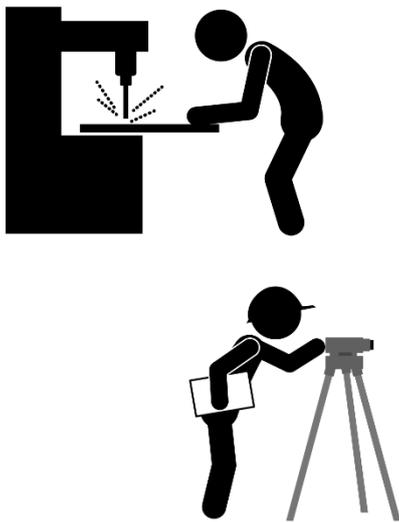
## ・応用科学・生物系

応用化学・生物系への第一印象は真面目、レポートが多くて大変そう、楽しそう、危険な薬物が多いというイメージであった。今の印象は先生が優しいけれども大変、課題が多い、小テストが多い分析化学、有機化学などの専門科目が難しいと感じている人がいるよ

うだ。どちらの印象も大変なところが多いといった意見がほとんどのように思う。特に印象に残っているのは最初に行う実験である、金属イオンの分属実験だという人が多いようだ。

## ・電気電子系

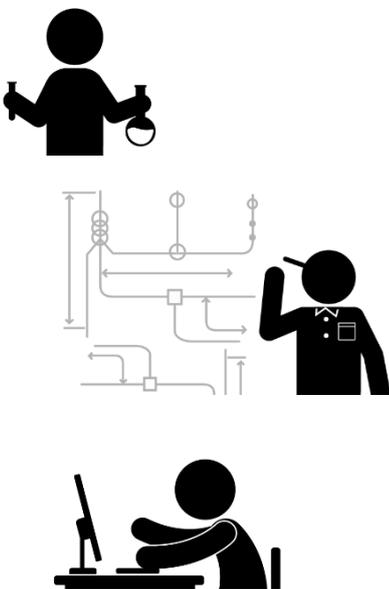
電気電子系はクラス人口が少ないこともあってか当初はもの静かな印象を持った人が多かった。一年間を通じてみるとアットホームで優しいクラスに変わっていったという人もいるようだ。大変だったところは専門科目が難しいという点だった。また印象に残っている専門科目は実験だった。理由としてレポートが大変というのが主だった。電気電子系はとっつきにくく難しいイメージがある一方で実験や専門科目を通して楽しさを見いだせることも良さだと感じた。



## ・情報系

情報系の第一印象は物静かなイメージを持つ人が多いようだったが実際に過ごしてみるとそんなことはなく、にぎやかで楽しいクラスだと感じる人が多い。二年生になってから始まる実験はやはり大変だったようでレポート提出の度に苦労している人もいる。大変なことは多いが、プログラミングなどの情報系の特徴ともいえる専門科目は印象に残る程楽しいものだ。

どの系も専門科目や実習が印象に残っているようだ。大変なことは多いものの専門科目で学ぶことは楽しいと感じる人がたくさんいるみたいだった。



## 高専祭を終えて

例年通りとはいかなかったものの今年度は無事に高専祭を行うことが出来た。一年生、二年生は初めての高専祭だったが、どのような感想を持ったのだろう。そこで新聞局の一年生に高専祭を終えた感想を聞いてみた。

### 一組

高専祭を終えてまず感じたのは規模の大きさだった。小学校、中学校とは比較できないほどの規模に圧倒され、イベントはどれも個性的でとても面白く熱いものが多く感じた。校内展示についてはゲームなど体験できるものが多く楽しむことが出来、系紹介を兼ねた展示もあったためこれから系選択のある一年生からすると非常に有意義なもので勉強になった。今後は一年生の時とは違った見方で高専祭に参加できそうだ。

### 二組

高専祭ではそれぞれの学科展ではすべての展示に関心が集まっていた。どの系に行こうか迷っている一年生や進路で迷っている中学生には貴重な機会であるため、一般参加がないのは残念に思う。体育館で行われた各イベントは、どれも会場一丸となって応援する姿は目に焼き付いた。来年度はいつも通りの高専祭が開催できるように頑張ってほしい。

### 三組

参加する前は高専祭は地味なものだと思っていたがそんなことなくイベントステージ演出等今回の時期だから行われた特別イベントの光景をみたら地味とは言えない。むしろ華やかなくらいだ。もちろん学科展などの出し物といった高専らしい出し物もあって楽しかった。五年制で個性的な人が多い高専の学校祭は地味なものではなく、ほぼすべての特徴が生かされた楽しいものだった。来年の高専祭も楽しみだ。

### 四組

高専祭で印象に残っているのはコスプレコンテストだ。同じクラスから出る人がいていつもとは違う雰囲気を楽しめた。各クラスの出し物でもゲームに勝ったりしていい思い出。二日間を通してとても楽しめた。周りもとても盛り上がり、来年は例年通り、多くの人が来れる高専祭になればいいなと思った。

### 五組

今年の高専祭は準備期間があまりとれず大変だったが、忙しくも充実した期間を過ごせた。一日目は部活動での発表があった。予想より多くの人が見に来てくれてとても嬉しかった。体育館での発表はぶっつけ本番だったが練習の成果を見せることができたと思う。二日目はイベントや展示をたくさん回った。た。イベントでは体育館の皆が盛り上がり、一体となっていたのがとても印象に残った。後夜祭でのゲーム大会の決勝も白熱していて、見ていて楽しかった。規模は小さかったが、とても楽しく過ごせることができた。

#### 局員紹介

局長	5・4	宮崎洋輔
副局長	5・5	上田雄一朗
局員		
5・1	菊地智瑛	5・2 鈴木連太郎
5・3	亀島圭哉	4・1 池田真樹
4・2	飯塚遥稀	4・3 柏正剛
4・4	土屋陽菜	4・5 大西美月
3・1	三浦悠斗	3・2 高木梨々香
3・3	森谷春斗	3・4 梅木明子
3・5	深井智哉	2・1 高橋佑輔
2・2	七島 峻	2・3 安東真奈美
2・4	梶原友花	2・5 三浦大知
1・1	佐藤泰樹	1・2 田中雄大
1・3	野口恭介	1・4 日川真維
1・5	鎌田静佳	
顧問	佐々木彩先生	

#### 編集後記

例年通りにかかず年度末となつてしまいました。発行するにあたって協力いただいた先生方、学生の皆様はこの場を借りてお礼申し上げます。